

# 月にみがきて



更級小学校学校だより No. 7

H25. 11. 1

最近の新聞に出ている事件は、下のようなことを知らないことが原因です。子どもを育む私たちが正しい知識で子どもたちのために対応しましょう。

## ポータブルメディアプレーヤーや携帯型ゲーム機について

### ポータブルメディアプレーヤー

携帯して映像を見たり音楽を聴いたりすることができる機器のことで、アップル社の「ipod touch」（アイポッドタッチ）やソニーの「ウォークマン」が人気です。

ご存知  
ですか



### ネットに接続できます

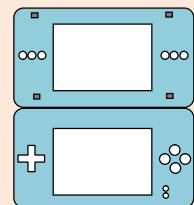
無線LAN（ラン）の環境が整っている家の中や飲食店やコンビニ、量販店、公共施設などでインターネットに接続して、様々なサイトを見たり、ゲームやツイッター、LINE（ライン）、YouTubeなどを利用したりすることができます。

### 子どもたちを危険から守るために

フィルタリングソフトを使えば、アダルトサイトや有害サイトにつながらないようにすることができます。有料（月額315円）ですが、公衆無線LANにも対応した「iフィルター」（日本PTA全国協議会推薦）などがあります。また、ipod touchには、インターネットへの接続や、音楽・ゲームなどの購入ができないようにパスワードで設定できる機能（「機能制限」）が備わっています。

### 携帯型ゲーム機

小型で持ち運びができるゲーム機のことで、ニンテンドーDSやソニーのPSP（プレイステーション・ポータブル）などがあります。



### ネットに接続できます

無線LANの環境が整っていればインターネットに接続して、友だちや世界中の人とゲームをすることができます。ゲームだけではなく、各種のサイトを見たり、掲示板サイトに書き込んだり、メールやチャットをすることも可能です。

### 子どもたちを危険から守るために

公衆無線LANにも対応した「iフィルター」（日本PTA全国協議会推薦、月額315円）などのフィルタリングソフトがあります。

ゲームに熱中するあまり、体調不良や集中力低下の危険があります。また、知らないうちに料金が高額になってしまうことや、友だちと協力してネットゲームをしているため、自分だけやめられないということもあるようです。日頃から、子どもたちのゲームやネットの利用状況をきちんと把握しておくことが大切です。

### ペアレンタル・コントロール（保護者による監視と利用制限）が大切です！

「我が家のルール」を決め、それをしっかり守らせましょう。

- 【例】
- 家族と一緒にいるところで使う
  - ゲームやネットは夜10時まで
  - ネットでの買い物は家族と一緒に
  - 人の悪口や画像を公開しない
  - 興味本位でサイトを見ない
  - 個人情報公開しない
  - 約束を守れないときは保護者が預かり、一定期間使用禁止



先週の土曜日は満月の夜でした。満月は1年に12から13回ありますが、仲秋の名月という満月は今年9月19日でした。先週の土曜日は10月19日です。ちょうど1ヶ月遅れの満月ですから、後の月というのだそうです。

さらしなは昔から月の名所と言われました。昔の人はこのさらしなの里から見る満月をとてきれいな月だと褒め称えていました。ですから、

更級は月の名所と言われてきたのです。先週の土曜日にも5区のさらしなの里展望館でお月見会がありました。雲があったのでしばらくの間だけしか見えませんが、お月見ができました。

これは江戸時代安藤広重という人が書いた「姥捨山田毎の月」です。今もこの姥捨の棚田を守っていこうとがんばっておられる方がいます。棚田保存会会長の森正文さんという方です。更級の方です。また、お話が聞ける機会があるといいと思いますがこの次の機会とします。

芭蕉さんと姥捨山の月という本に出てくる江戸時代の松尾芭蕉という人がこの月を見て、短い文を作っています。

「おもかげや おばひとりなく 月の友」

なくなってしまったお母さんの面影を月を見ながら思い出しているのです。

ことばがおもかげやで5つ、おばひとりなくで7つ、つぎのともで5つのひらがなを組み合わせました。これを俳句といいます。6年生がこれに似た短歌という文を作ってくれました。

「たのしみは 学校からの 帰り道 われになつた 猫なでるとき」

これは5, 7, 5に7つの音と7つの音が付け足されている短歌といいます。

「たのしみは 部屋にこもって 好きな曲 こっそり聴いて 歌っているとき」

「たのしみは かえるの声の 子守唄 窓の外から 聞こえるとき」

「たのしみは 野球大会 前日の グラブの手入れで イメトレする時」

七、七になっていない時もありますが、字余りとか字足らずと行ってこれもいいんです。まだまだ楽しい短歌があります。こんな俳句もあります。

小学校2年生の俳句です。 「かけざんを おぼえてひきざん わすれたよ」

「とおさんの ひげでだいこん おろせそう」

「元旦に むりなもくひょう いわされる」

「夏休み 氷の中で あばれたい」

「夏休み 1等当てるぞ 宝くじ」

「夏休み アイスが溶けて オーマイガー」

どうですか。楽しい俳句ばかりですね。皆さんも思いつく五七五がありますか。

「トマトの葉 さわるととトマトの においする」と言う俳句があります。

俳句を作ると、いつも見慣れた物でもひらめいて、新しい発見をすることができます。そして同じことを言うにもいろいろな言葉を考えますから日本語力がつきます。こんないいことがあります。

みなさんも「秋が来た」ではじめて、その後続く7音と5音を考えて見ましょう。思い浮かんだ人は手を挙げてみてください。

まだ、楽しい歌が作れそうです。

昇降口のところに書く紙をおいておきますから、思いついてらせび書いてみてください。

みんなに紹介して、お互いに見合ってみたいと思います。

子どもたちが作った俳句の一部を紹介します。

秋がきた	秋のみかくは	高すぎる	6年	水井あかり
秋がきた	山がおけしょう	しはじめる	5年	池田 琴
秋がきた	落ち葉がおちる	ひらひらと	4年	島田夏伎
秋がきた	カマキリ空を	みあげてる	3年	林 ラム
秋がきた	落ち葉をひろって	糞虫だ	2年	森 琢美
秋がきた	木からおちばが	おちてきた	1年	高松采加

まだまだたくさんありますので、楽しい作品を次号でたくさん紹介したいと思います。